

【Competent quickトラブルシューティング】

現象	原因	対策
形質転換後のコロニー数が出ない、少ない	DNAの液量が多すぎる	コンピテントセルの液量の 1/10 以下の液量の DNA 溶液を添加します。
	DNA 量が多すぎる	使用する組換えプラスミド量は、10ng 程度までにします。
	プラスミドのサイズが大きすぎる	10Kb 以下のプラスミドを使用します。
	ヒートショックの条件が合っていない	42°C、30sec. 実施します。
	タンパク質が発現していて、宿主の生育が阻害されている	DH5 α 以外の宿主に変える。
形質転換後に増殖が認められない	選択用抗生物質の量があっていない	アンピシリンは 50~100 μ g/mL、カナマイシンは 10~50 μ g/mL の濃度になるように培地に添加します。(テトラサイクリン、クロラムフェニコールでのセレクションはお勧めいたしません。)
エレクトロポレーションができない	製品のバッファー組成が合っていない	他社のエレクトロポレーション用コンピテントセルをご使用ください。